

九
月
定
例
会

平成16年度各会計決算を認定！

9月定例会が9月8日から10月5日までの28日間の会期で開かれました。
市長から76件の議案が提出され、審議の結果、すべての市長提出議案を可決しました。
また、議員から提出された議案は11件で、うち8件を可決しました。

決算審議

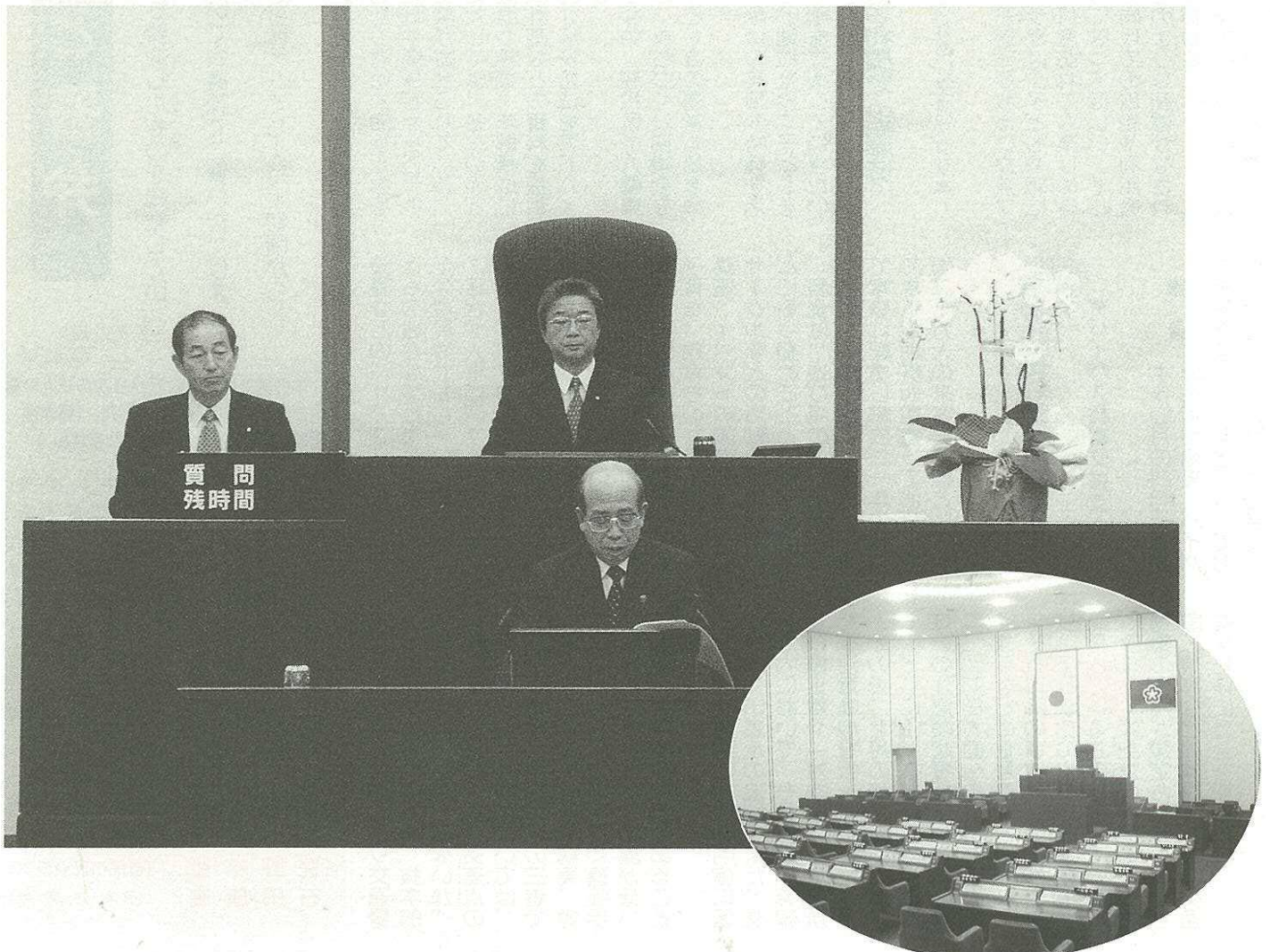
本会議の質問と答弁 2～5P

決算特別委員会での質疑と答弁 6～7P

お知らせ

市議会の傍聴や本会議中継について 8P

請願・陳情の審議結果 8P



市営住宅の増設は？

議員

昨年度の市営住宅の空き家募集の結果、倍率は十九・四倍で前年を上回る高いものとなった。不況と高齢化により、市営住宅の需要はますます高くなっていくことから、増設してはどうか。

建築部 平成十六年度の空き家

市長 募集は、高額所得者など入居資格のない失格者が約二割いることや、斡旋しても辞退する方が約四分の一いることなどから、実質倍率は約四・七倍であったと見込んでいる。

市営住宅戸数を他の政令市と比較すると、世帯数に対する市営住宅の割合が第二位、市営住宅に入居可能な年収五百万円以下の借家世帯に対する市営住宅の割合が第一位など、本市の整備水準は非常に高い状況にある。このため、現在管理している約三万三千戸から増設していくことは考えていない。今後は引き続き再配置計画に基づいて、老朽化した既存住宅の建て替えを中心に、地域偏在の是正を図りながら、計画的な整備を行っていききたい。

曾根干潟への影響は？

▼最終処分場建設▲

議員

新門司南地区に廃棄物最終処分場の建設が計画されている。曾根干潟への影響



曾根干潟

についてどう考えているのか。

環境 新門司南地区処分場は

局長 現在受け入れを行って、いる響灘西地区廃棄物処分場が限界となるため、新たに整備するものである。

この事業が曾根干潟に及ぼす影響は、水質、地形、地質、生態系などの環境影響評価の解析結果から、事業による影響は極めて小さいと判断している。

また、大規模事業評価委員会の答申においても、「廃棄物処分場の早急な整備が迫られている中、整備可能な場所は新門司南地区が最適である」として、その必要性が認められている。

なお答申では、環境に与える影響を最小限に抑えるとともに、護岸を多様な海生生物の生息しやすい構造にするように求めている。

市としては、この意見を踏まえ、外周の護岸を緩やかに傾斜させるなど工夫し、海生生物の生息にも配慮して事業を進めることとしている。

東田地区の整備推進を！

議員

八幡東区の活気を取り戻すためにも、東田地区の開発計画を一刻も早く進めることが重要である。現在の整備状況と今後の見通しについて尋ねる。

建築部 東田地区は、大規模な

市長 工場跡地を活用し、周辺地域との一体化を図りながら、業務・商業・文化・居住機能が複合する都市拠点の形成を目指している。

開発計画では、地区全体を七つのゾーンに分け、それぞれの機能に沿った開発が進められており、現在、四十三の企業や施設が立地している。

住宅や商業施設についても、早急に土地利用が行われるよう、土地所有者や事業者に対し、強く働きかけを行ってきた。

その結果、本年十月には、分譲住宅の着工が予定され、また、スペースワールド駅前に、イオン株が、来年夏の開業を目標に商業施設を建設する予定となっている。今後も、必要な調整を行い、八幡東区の中心市街地の活性化に寄与する土地利用の推進に積極的に取り組んでいきたい。

農業再生に向けた取組は？

議員

農業再生のためには、経営規模の拡大や高度化・効率化が不可欠である。リー

ダーの育成や法人化に向けた取組状況について尋ねる。

経済文 本市農業の再生に向け

化局長 て、担い手の核となる農業者に対し、ハウス整備などに対する補助や融資を行っている。

また、農地貸付の斡旋などが受けられる「認定農業者制度」を活用し、経営規模の拡大や高度化、効率化を図るよう積極的な働きかけを行ってきた。その結果、現在本市の認定農業者数は、制度発足当初の約三倍にあたる百六十一名となっている。

法人化に向けた取組としては、研修会などを活用して、法人化のメリットなどの情報提供を行ってきた結果、五件が家族経営から農業生産法人などへ移行した。

また、兼業農家や高齢の農業従事者に対しては、その能力に応じて役割分担ができるよう、集落を単位に、共同して営農活動を行う組織を育成し、将来、法人化を目指す取組を行っている。

今年度は、モデル事業として、地域を限定し、個々の農家における今後の農地利用の意向確認などを行っていききたいと考えている。

録音図書の実用を！

議員

点字図書館の録音図書は、価値観の多様化により幅広いジャンルが求められている。これにこたえるため、文字を音声に変換するシステムを導入してはどうか。

また、録音図書の利用を希望す

る高齢者もいることから、利用対象を広げてはどうか。

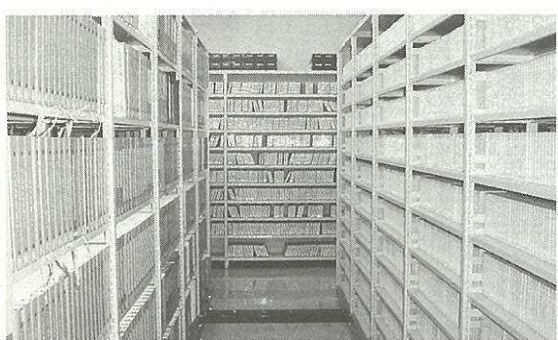
保健福 録音図書は、朗読ボラ

社局長 ンティアが、事前に用語の下調べや読み込みを行い、聞きやすいように作成されている。

年間延べ一萬五千人を超える視覚障害者の方に利用されており、大変喜ばれていることから、今後も大切にしていきたいと考えている。文字を音声に変換するシステムについては、音声に抑揚がなく、誤訳が多いなど、技術的にはまだ十分でないと考えている。将来、このような面が改善されれば、その時点で検討していきたい。

また、著作権法上では、視覚障害者の利用に限って図書を音声に翻訳することが認められており、それ以外の方は録音図書を利用できないのが現状である。

しかしながら、手が不自由になつたり、視力が衰えた高齢者への貸出については、どのような方法がとれるのか研究していきたい。



点字図書館書庫 (左：点字図書 右：録音図書)



窓口カウンター上に置かれた離婚届出用紙

離婚届出用紙の配布方法の改善を！

議員

離婚届出用紙が必要な場合、他の市民がいる中で窓口職員に申し出なければならぬ区役所がある。市民が嫌な思いをしないうるためにも、他の届出用紙と同じようにカウンターの前に置くべきではないか。

総務市長

離婚届出用紙は、窓口職員の手元に置き、市民からの申し出を受けて、記入上の注意などを十分説明した上で、手渡している。

これは、市民が離婚届を出す際、記載内容や添付資料に不備があれば、再度の来庁が必要となるため、市民の利便性を考えてとっている措置である。

しかし、八幡西区役所では、市民の苦情・要望を受け、昨年の十月から、市民課の窓口のカウンター上に置くことで、市民が自由

に届出用紙を手渡さず、同時に必要に応じて職員から十分な説明を受けられるようにしている。

このことにより、市民からの苦情はなくなり、窓口での対応もスムーズになっている。他の区役所や出張所においても、速やかに対応したいと考えている。

市西部地域からの集客対策を！

▼新北九州空港▲

議員

新空港の利用促進を図るためには、本市西部地区からの集客が不可欠である。

しかし、これまでのPR活動にもかかわらず、西部地区の市民の関心度は依然として低い。抜本的な対策が必要ではないか。

港湾空

港局長

国の調査によれば、本市西部地域の需要は全体の二割にのぼっており、新空港にとつて、この需要を着実に取り込むことが極めて重要である。

このため、特に西部地域を走る路線バスや電車のラッピング広告などのPR活動に取り組んできた。さらに、本年十月一日から黒崎・折尾地区と現北九州空港を結ぶ直行バスが試験運行され、これを通じて、新北九州空港のPRと開港時からの利用者確保を図りたい。

また、十月から十一月にかけて各区分から新空港までのアクセスを体験できる「一万人空港島バス見学会」を実施する予定である。

今後も区役所や民間団体と連携を図り、地域のイベントなどあらゆる機会を捉えて、積極的に需要の掘り起こしを図ってきたい。

分別収集の早期実現を！

▼プラスチック製容器包装▲

議員

プラスチック製容器包装の分別収集は、手数料見直しから約一年遅れの平成十九年度からとなっている。今回の家庭ごみ収集制度の見直しは、家庭ごみの三〜四割を占めるプラスチック製容器包装の分別が成否を左右することから、手数料見直しと同時に開始してはどうか。

環境局長

分別収集の開始時期は、市民説明会の中でも、「手数料見直しと同時に実施してほしい」という意見が多数ある。同時実施については、市民がごみ減量を実感できることや新たな家庭ごみ収集制度の移行が一回で済み、わかりやすいなど、大きなメリットがある。

しかし、この場合、処理施設が稼働するまでの約一年間は、分別したプラスチック製容器包装は市の工場で焼却し、ごみ発電のエネルギーとして活用されることになる。

このような処理方法に市民の理解が得られるのであれば、同時に分別を実施する方向で検討を進めたいと考えている。

分別収集の対象拡大を！

▼生ごみ、金属類など▲

議員

本市では、リサイクルが可能であるにもかかわらず、一般ごみとして出されて

いるものが多い。ごみの減量化を進め、リサイクル率を上げるためにも、新たに、生ごみ、金属類などの分別収集を検討すべきではないか。

環境局長

分別収集については、①市民にとってわかりやすいか、②リサイクル技術が確立し、再生品の需要があるか、③コストを含めた効率性はどうかという三点を基本として判断してきた。また、行政が全てを回収するのではなく、市民や事業者の自主的な取組を積極的に活用することが、地域コミュニティの活動を支え、行政コストを下げるということにもつながると考えている。

生ごみについては、品質の安定性、販路の確保や悪臭の問題などから、市民から提案の多いたい肥化を全市的に取り組むことは困難である。

また、鍋・フライパンなどの金属類は、ごみの量、出される頻度とも少なく、包丁などの危険性もあることから、ステーション回収は考えていない。

しかし、市民から金属原料としてほしいという声があることから、現在、極力コストをかける回収方法を検討している。

駅のバリアフリー化の状況は？

▼JR及びモノレール▲

議員

交通バリアフリー法の整備目標年まで残り五年となった。対象となるJR駅及びモノレール停留場のエレベーターや身障者トイレなどの整備予

定について尋ねる。

建築部長 JR駅については、市内28駅のうち、一日五千人以上が利用する駅と、新北九州空港最寄の朽網駅を加えた十四駅をバリアフリー化の対象と考えている。整備については、JR九州と協議を行い、乗降客の多い駅などから順次進めている。これまで小倉駅など八駅が完了し、今年度は八幡駅の整備を予定している。

残りの駅については、乗降客数を基本に、障害者や高齢者が利用する病院、生涯福祉施設の立地状況などを総合的に判断した上で、国の基本方針である平成二十二年度までには完了させたい。

モノレール停留場については、十三の停留場すべてを対象としており、一年に一停留場のペースで進めている。

これまでに小倉など六つの停留場が完成し、今年度は競馬場前、来年度には企救丘が完成する予定である。



モノレール且過停留場前のエレベーター

折尾地区の史跡保全について

議員 折尾地区には、折尾駅舎・ねじりまんぼなどの

歴史的建造物や長い歴史の中で、関係者の努力により守られてきた多くの史跡がある。折尾地区総合整備事業の事業化にあたっては、これらの歴史的価値を調査した上で、具体的な保全策を検討すべきではないか。

建築部 折尾地区にある史跡の

市局長 中には、歴史的な意義など具体的な内容を十分に把握していないものもあるが、区画整理事業は、換地により地区内に移転する仕組みであることから、将来に渡り地区内に残るものと考えている。

史跡の調査・保全については、地元住民、地域の史跡・文化財や郷土史に詳しい学識経験者などと意見交換を行い、具体的に検討していきたい。

まずは、維持管理をしている方々に、現在の詳しい状況を伺ったうえで、関係者と協議していきたい。

他に、次の項目にわたっても議論がありました

○アスベスト対策について

○少人数学級について

○ごみ収集制度の見直しについて

など

可決した意見書

市議会では、市政や市民の皆さんの生活にかかわりの深い事柄について改善などを求めるため、意見書を国などへ提出することができます。

今定例会では、11件の意見書が提出され、うち8件を可決しました。
その件名などを紹介します。

○悪質住宅リフォームから高齢者などを守るための対策強化を求める意見書

(要旨) 高齢者などを悪質住宅リフォームの被害から守るため、成年後見制度の周知徹底のための広報活動の強化や、悪質住宅リフォームを対象とした取締法規の制定を検討することなどを要請するもの。

○障害者福祉サービスの充実を求める意見書

(要旨) 国会で審議中の障害者自立支援法案は、収入に応じて利用料を負担する応能負担から、サービスに応じて負担する応益負担へ変えるものであり、障害者に重い負担を強いるものである。このため、低所得者向けの免除・軽減措置をさらに整備することなどを要請するもの。

○米国产牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSE問題への万全な対策を求める意見書

(要旨) 政府は、米国での検査体制の不備にもかかわらず、二十力月齢以下の牛を検査対象から外す新基準を適用し、米国产牛肉の輸入再開に向けた動きを進めている。これに対し、国民の生命の安全とBSE問題への万全な対策を求めるため、拙速な輸入再開を行わないことなどを要請するもの。

○自治体病院の医師確保対策を求める意見書

(要旨) 昨年四月から実施された新たな臨床研修医制度の必修化や、地域や診療科による医師の偏りなど、地域医療を担う医師の不足が深刻化している。このため、都道府県、大学、学会、医師会などとの連携のもと、早急に抜本的な医師確保対策を講じることが要請するもの。

○IT投資促進税制の存続と拡充を求める意見書

(要旨) 産業の高度化などを図ることを目的として、平成十五年一月に創設された「IT投資促進税制」を、来年度以降も継続することなどを要請するもの。

○耐震化に向けた施策の拡充を求める意見書

(要旨) いっごで発生してもおかしくない大地震への備えとして、防災対策だけでなく、被害を最小限に抑える減災への取組が求められている。このため、耐震診断・耐震改修の補助制度や、「地域住宅交付金制度」を全国に普及させることや、耐震改修に関する税の優遇措置を創設することなどを要請するもの。

○アスベスト総合対策の徹底を求める意見書

(要旨) アスベストが原因と思われる中皮腫や肺がんで死亡した事例が相次いで報告される中、アスベスト健康被害に対する国民の不安が非常に高まっている。このため、被害者救済を図る新法の早期成立や、アスベスト使用などの早期禁止など、アスベスト総合対策を徹底することなどを要請するもの。

○定率減税の半減及び全廃方針の撤回と所得税などの抜本的改革を求める意見書

(要旨) 来年から半減することが決定している定率減税が、二〇〇六年度の税制改正では全廃する意向が示されている。このため、定率減税の半減及び全廃方針の撤回と、所得税などの抜本改革を進めることなどを要請するもの。

市議会の虚礼廃止にご理解を！

— 公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。 —

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか市議会では、祝電、弔電の自粛を申し合わせています。市民の皆様のご協力をお願いします。

決算特別委員会

—市長質疑から—

9月16日に設置された決算特別委員会
ました。9月27日に行われた市長との

は、3つの分科会に分かれて審査を行い
質疑の中から、いくつかを紹介します。

第1分科会

安全・安心なまちづくりの成果と今後の取組は？

Q 本市の安全・安心対策を総合的に推進する安全・安心部の設置から1年が経過した。これまでの取組の成果と、さらなる安全・安心なまちづくりに向けた今後の強化策について尋ねる。

A 安全・安心部は、従来からの防犯灯整備などに加え、「生活安全パトロール隊」結成のような地域防犯対策の推進に努めてきた。

この結果、パトロール隊には78校区、約4,800人の方が参加しており、10万人あたりの犯罪発生件数が政令市中第4位から第8位と大幅に改善するなどの成果が出ている。

また、今年3月のマラッカ海峡拉致事件など、今までに経験したことがない危機管理事態についても、庁内に横断的な組織を編成し、警察など外部機関とも連携しながら迅速かつ柔軟に対応した。これらの取組については、市民や関係者からも一定の評価を受けているものと考えている。

自治体が対応すべき安全・安心問題は、自然災害、治安問題、健康被害、食の安全、さらには、有事に際しての国民保護にまで広がりをみせている。

このため、次期総合計画の中間とりまとめでも、6本の柱の一つとして掲げたところであり、今後も、「日本一安全・安心なまち北九州」の実現に向けて努力していきたい。



生活環境パトロールカー

オリンピック招致に積極的な支援を！

Q 福岡市が2016年のオリンピック招致に向けた準備活動を開始すると発表した。福岡市とは、福北連携のもと、わが国第4の都市圏の形成を目指して連携を強めており、市として積極的な支援の意思をいち早く表明すべきではないか。

A オリンピックを1つの都市だけではなく、複数の都市で開催することについては、日本で第4の大都市圏を目指すという大きな流れに立てば、良いのではないかと考えている。

しかし、オリンピックの開催にあたっては、多額の財政負担や治安の確保など、クリアすべき課題も多い。また、広域での開催となれば、国や関係機関との連携も重要である。

積極的な賛成意見もあれば慎重な意見もある中で、どう進めていくか考える必要がある。

福岡市とは今議会終了後にトップ会談を予定しており、その際に、福岡市長からオリンピック招致に関して話を聞いた上で、私の考えをまとめたいと考えている。

第2分科会

スクールカウンセラー配置の効果は？

Q いじめや不登校など子どもの心のケアを担っているスクールカウンセラーの配置状況とその効果について尋ねる。

A 本市では、臨床心理の専門家をスクールカウンセラーとして全中学校に配置している。

具体的な活動としては、①週2回、子ども・教師・保護者を対象にしたいじめや不登校など様々な相談への対応、②校内研修の実施による教職員のカウンセリング能力の向上と校内相談体制の整備などを行っている。

この結果、いじめや不登校の発生件数が減少しており、子どもが抱える心の悩みやストレスの解消など、心のケアが図られているものと考えている。

一方、小学校については、中学校のスクールカウンセラーを活用し、児童のカウンセリングを行う体制を整えている。

また、小中学校において、重大な事象が発生した場合には、複数のスクールカウンセラーを派遣し、集中的に子ども・保護者などの心のケアを行うこととしている。

今後も、学校での対応だけでなく、スクールカウンセラーや関係機関などとの連携を図りながら、子どもたちの心のケアに努めたい。

ごみ指定袋の値上げに対する見解は？

Q 平成15年7月の北九州市ごみ処理のあり方検討委員会からの提言では、大袋15円などの手数料は不十分であるとなっている。この提言を受け、ごみ指定袋料金の見直しを進めているが、指定袋の値上げに対する市長の見解を尋ねる。

A 検討委員会の提言は、①ごみの排出者としての責任の自覚と実行、②経済的手法による誘導策の活用と公平性の確保などを基本方針としている。この提言や国の動きを踏まえて、ごみ量の20%削減という具体的な数値目標を掲げ、今回の家庭ごみ収集制度の見直しを提案した。

今回の見直しで最も重要なことは、①ごみを出す量に応じた負担を求めること、②ごみ処理や分別・リサイクルに毎年多額のコストがかかっている現状を市民に理解してもらうことであると考えている。

また、ごみ減量のためには、リサイクルや分別の仕組みを充実させることも重要であり、今回の見直しの中でも、プラスチック製容器包装の分別収集や古紙回収の強化などに取り組んでいる。

今回の見直しは、分別リサイクルなどのごみ減量に協力すればするほど負担が軽くなる仕組みであり、市民の理解が得られるものと考えている。

第3分科会

道路（黒原～飛行場線）の早期整備を！

Q 道路（黒原～飛行場線）は、現在、北九州空港正面入口まで整備されているが、その先は行き止まりとなっている。来年3月の新北九州空港の開港により、交通量の増加が見込まれることから、早期整備が望まれる。そこで、現在の進捗状況と供用開始見込みについて尋ねる。

A この路線は、現北九州空港正面入口から県道門司行橋線の中曽根新町交差点付近までの延長1,600メートルの区間であり、全線4車線の新設道路として、平成9年度から整備を行っている。

用地買収の進捗状況については、これまで全125筆のうち、119筆の契約を完了し、残る6筆は10月末までに契約が完了する予定である。また、現在残っている4件の家屋も、12月中には移転を終え、解体される予定であり、本路線完成の目的が立ったものと考えている。

工事の進捗状況については、平成15年度より、用地買収が完了した箇所から着手しており、現在、用地補償の未完了箇所を除く全区間で工事を行っている。

現在の進捗率は約70%であるが、今後も引き続き、工事の進捗よくに努め、来年3月の新空港開港前には、供用を開始したいと考えている。

自転車駐車場の無料化は？

Q 市内主要駅周辺では、依然として多くの自転車が路上などに放置されている。これは自転車駐車場が有料だからという意識が表われたものではないか。放置自転車をなくすためにも、無料化すべきではないか。

A 放置自転車が多いJR駅周辺の場合、近くに自転車駐車場があっても、利用者は商店の前など目的地に近い場所に止め、駐車場まで持っていく手間を惜しむ様子が伺える。

このため、一概に、有料だから路上に放置しているとは考えていない。自転車駐車場の設置には、土地購入費や建設費などで約30億円、維持管理経費で平成16年度に2億3,700万円がかかった。本来、この経費については、受益者負担の原則に基づき、使用料収入で賄うものであるが、使用料収入は1億2,800万円、維持管理経費の約54%である。

これは、公共施設という公益性、他都市との均衡にも配慮し、使用料を1回100円と低額に抑えているためである。

無料化しても、建物保守などの経費は依然として必要であり、また、受益と負担の適正化も重要である。このことから、今後も受益者負担のもと、適切な管理を行っていくため、無料化は考えていない。



自転車駐車場

市議会の本会議を 中継しています！

市議会では、開かれた議会を目指し、市民の皆さんに市議会への関心を深めていただくため、年4回の定例会における市長提案理由説明及び質疑・質問の模様をケーブルテレビ（9チャンネル）で放送しています。

9月定例会では、本会議での5日間の審議の模様を中継し、土曜日と日曜日に再放送（1回）しました。

市議会中継のビデオをご覧ください。

再放送のあった日の概ね2週間後から、市議会中継を録画したビデオテープ（VHS）の視聴・貸し出しを行っています。ぜひ、ご利用ください。

●視聴

視聴覚センター（561-3131）、文書館（561-5558）にお問い合わせください。

●貸し出し

市議会事務局調査課にお問い合わせください。

次の放送は？

今回は、12月定例会の本会議を中継します。中継は、ご家庭（ケーブルテレビ加入世帯など）や本庁舎・各区役所ロビーでご覧いただけます。なお、市民センターなどでもご覧いただける場合がありますので、最寄りの施設にお問い合わせください。

放送日程など詳しくは、市議会ホームページなどでお知らせします。

市議会のホームページ を見てみよう！

市議会では、市議会のしくみや活動状況などの最新情報をホームページでお知らせしています。主な掲載項目は下記のとおりです。ぜひ、ご覧ください。

◆市議会だより

・今、ご覧いただいている市議会だよりをホームページにも掲載しています。

※平成14年4月15日号から掲載しています。

◆会議録検索システム

・平成9年以降分の本会議や平成12年9月以降分の予算・決算特別委員会市長質疑の内容（全文）を検索できます。

※なお、掲載までに本会議等が終わってから概ね3カ月程度かかります。

◆キッズナビ（ウェブまんが）

・「市議会ってどんなことをしているのかな？」と疑問を持っている子どもたちのために、市議会のことをわかりやすく説明したウェブまんが「市議会ってなあに？」を掲載しています。

- 議会制度の紹介
- 議員名簿
- 定例会・臨時会の会期日程
- 委員会の開催日程
- 定例会・臨時会の会議結果
- 市議会中継
- 請願・陳情 など

アドレス

<http://www.city.kitakyushu.jp/~k4100030/>
（北九州市のホームページからもアクセスできます。）

問い合わせ先
市議会事務局調査課
☎582-2632

市議会ってなあに？ ②5



あなたも市議会を傍聴しませんか

市議会の会議の様子を傍聴することができます。あなたも、市議会に足を運んでみませんか。本会議及び常任委員会、特別委員会が傍聴できます。車椅子使用の方もそのまま傍聴できます。

耳の不自由な方のためには、議場や委員会の音を聞き取りやすくする音声伝達システムを備えています。

受付は、会議の始まる1時間前からです。定員は本会議（議場）137人、委員会は部屋の広さで異なりますが、10〜20人です。

請願・陳情の審議結果

○陳情「**牧山児童館の移設及び建てかえについて**」
《採択》

○陳情「**北方南保育所と北方西保育所の統合及び民営化反対について**」
《不採択》

このほか、請願10件、陳情18件が継続審査になりました。

お知らせ

▼市議会では、視覚障害（1級か2級）のある方に、市議会だよりの点字版、または録音テープを無料でお届けしています。ご希望の方は、ご連絡下さい。

▼聴覚に障害のある方が、本会議の傍聴を希望される場合は、要約筆記者及び手話通訳者の派遣先を紹介しています。

▼次の定例会は12月開催予定です。